

五十嵐ゆうこの米国小売業最新レポート

2020年10月23日

Grocery stores prepare for a 2nd wave of pandemic panic shopping

10月後半に差しかかっておりますが、再び世界中で新型コロナウイルス感染患者が急増し、米国でも中西部を中心に30以上の州で感染者数が増大もしくは横ばいの状態となっています。

特に寒さが厳しい東部では、インフルエンザが同時流行する懸念もあり、感謝祭やクリスマスなどのテーブルを囲んで御馳走を食べる記念日とも重なるので、どうしても沢山の食料品を購入する傾向となっています。

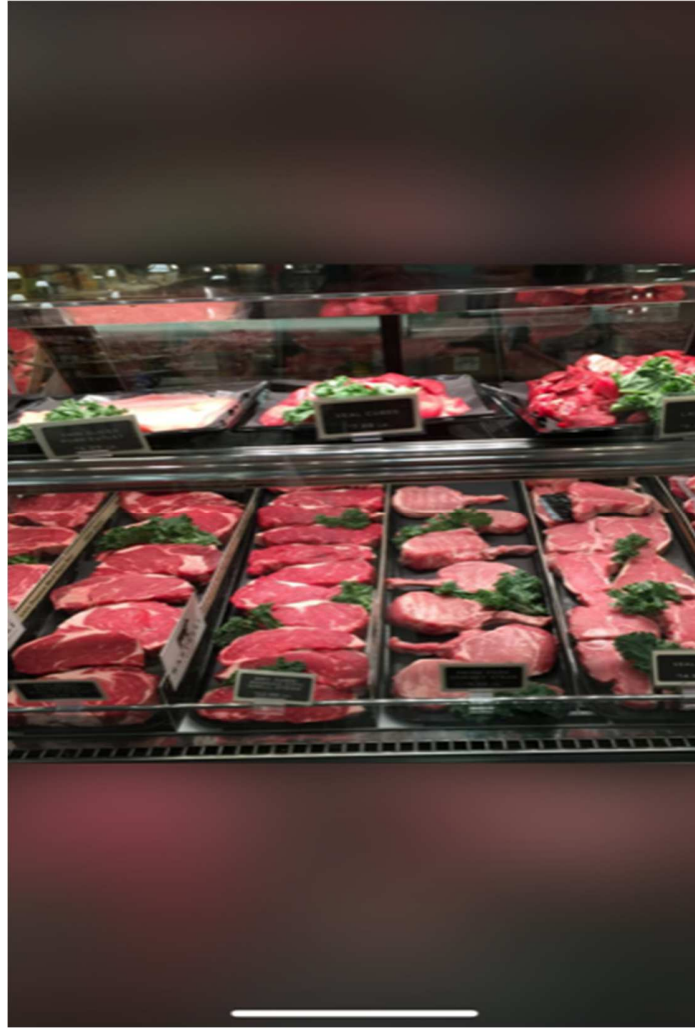
仮にこの時期に再びロックダウンが施行されれば、3月に経験した以上に食料品店に人々が殺到するようなパニックが起きる可能性も否めません。

直近のニュースでは、食品を扱う小売業は例年以上の在庫補充の準備の必要性に迫られていると報道されています。

食品小売業を代表した2人がゲスト出演した内容を以下シェアいたします。

「現在、我々が目にし始めた光景は第2波パニックの序章かもしれません。買いだめを行うためにどのようなタイプの専用冷凍庫を購入すれば良いのか、多くのお客様より繰り返し尋ねられるようになりました。彼らの関心は肉で、主にステーキやロースト用、そして牛ひき肉や七面鳥、鶏肉の大量冷凍保存です。そして再び子供たちの学校が閉鎖される事を懸念し、ピザを始めとする即食系の冷凍食品です。同時にパスタなどの乾物商品やトイレットペーパーやキッチンペーパーなど紙類の買い置きも増えてきています。」とニュージャージー州の Rastelli Market Fresh の店長 Chris Mentzer 氏がインタビューで語っていました。

東部での人口が2000万人以上集中する Tri-State Area(ニューヨークの中心マンハッタンへ通勤する圏内のニュージャージー州とコネチカット州を合わせたエリア)を中心に展開する Stew Leonard Market の代表取締役社長 Stew Leonard Jr 氏も Mentzer 氏も同様の需要が急増すると唱え、「**パンデミック以降、店舗を訪れるお客様数が減少したにも関わらず、売上は25%増加しています。**」と答えていました。



現在、米国で起こり始めた買いだめは、政治や感染者の拡大への不安と言うより、コロナ対策の準備ができていない段階で第2波を迎えたくない といった消費者心理から発生している と専門家は分析しています。

品不足を悪化させている一つの要因に、以前は買いだめを行わなかった消費者までもが追加で購入している為にとうとう在庫レベルにまで影響を及ぼし始めています。

特に乾物で、最も使用頻度の高いパスタや年末に向けて調理する機会が増えるケーキやパンを焼く際に使用する小麦粉やイースト菌が、3~4月の時期には入手困難であったため、現在、その需要度合いは非常に高くなっています。

特にパスタやパスタソースは人気のナショナルブランドの供給が追い付かなくなり、他のブランドを外部委託しなければならないほどのスピードで商品が供給されています。

また、掃除専用商品も供給に対し、需要が上回る問題が浮上しています。

Mentzer氏は「**現在、清掃用品や洗剤商品は過去に例がないほど最悪の在庫状況です。ナショナルブランドは枯渇し、お客様の要望に応えるため地元の供給会社に依頼し、業務用製品を持ち込む必要に迫られています。業者から納品されるナショナルブランドの在庫も少量に割り当てられ、箱から出した途端に売り切れてしまいます。この問題は年明け時期まで影響するかと思えます。**」と指摘しています。

また、Stew Leonard Jr氏は「**パンデミックが起きた直後ほどの激しさではないが、暴風雨が来る前に準備するような買い方でお客様は購入し、パンデミック以前よりも17%以上余分に食料品を購入しています。3月のピーク時は85%も売上が上昇しましたが、現在は20%増で推移しています。**」と述べており、このStew Leonard Marketの推定売上高の増加は、全国的に記録されている食品小売業の数値とも一致しています。

オンライン貸付市場調査会社Lending Treeの最新データによれば、アメリカ人消費者の食料品に対する1週間の支出総額はパンデミック前の平均\$163から17%膨み\$190に増大しています。

さらにStew Leonard Jr氏は「**私は何かを予言することは出来ませんが、お客様は今後数か月の間に何が起こるかについて神経質になっている**」との報告を受けており、7か所ある弊社の店舗では急いで在庫を確保しています。」と最後に付け加えました。

そしてMentzer氏は「**お客様がとるべき最善の手段ですが、必要なものを把握して購入する事です。店舗で商品が不足している原因は多くのお客様が自分の家の車庫や地下室で数週間以上、場合によっては数か月間分の余分な物資を買い置きしているからです。製造業者は来年の冬の売上増加も見越して生産を増やしている**ので、急に生産ラインを追加することは容易ではありません。出来る事であればお客様同士が他人へも気を配り、不足が緩和されることを願っています。」

と締めくくっています。



▲Stew Leonard Jr 氏



最後に Mentzer 氏と Stew Leonard Jr 氏が現在需要の高い商品を次にまとめました：

- Bottled water and brand-name seltzers (ボトル水とブランドの炭酸水)
- Canned goods (缶詰)
- Pasta (パスタ)
- Baked goods (クッキーなどの焼き菓子)
- Yeast (イースト菌)
- Flour (小麦粉)
- Butter (バター)
- Cream (クリーム)
- Cheese (チーズ)
- Bread (パン)
- Premade/ready-made fresh foods and cold cuts (出来合いや即食総菜やカットしたハムやチーズなど)
- Meats, poultry and fish — even less popular fish, like halibut (肉、鶏肉や魚、普段は買わないオヒョウなどの高級魚も同様に含む)
- Toilet paper and paper towels (トイレットペーパーとペーパータオル)
- Cleaning supplies (清掃用商品)
- Frozen foods, particularly frozen meals and pizzas. (冷凍食品、特に冷凍ミールやピザ)
- Turmeric and really any foods hailed as immune-building or flu-fighting, Leonard observed. (Leonard 氏の観察ではインフルエンザなどを予防するターメリックや免疫を強化するもてはやされるいかなる食品を含む)
- Citrus fruits (also known to be immunity building) (柑橘系果物—免疫強化で知られるものも含む)
- Jarred salsa (瓶入りのサルサソース)
- Pasta sauces, especially marinara. (パスタ用ソース、特にマリネラソース)
- Liquor, beer and wine — even the top-shelf stuff (リキュール、ビールやワインなど、高級ブランドの商品も同様に含む)

上記のリストを見る限り、スーパーマーケットで販売されている殆どの商品が関心を高めているように見受けられますが、現在は人対人の接触を避ける傾向でクリスマスカードを含むグリーティングカードや花、お祝い用ケーキの需要は低迷するであろうと予測がされており、今年は以前とは異なるホリデーシーズンとなりそうです。

私の住むロスアンゼルスでは10月後半でも温暖で平均28度くらいの気温が続いています。

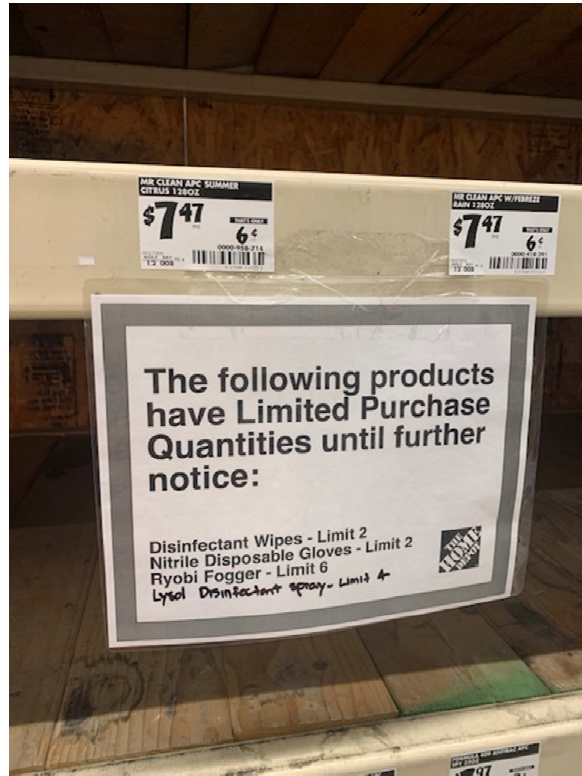
例年ですとインフルエンザの流行を意識するにはまだ少し早いのですが、今年はドラッグストアや病院で予防接種を受ける人々の列を見かける機会が多い気がします。

ホームセンターなどの家電売り場で専用冷凍庫がほぼ売り切れ状態で、上記のニュースが報道されてから清掃用品の売り場の欠品も目につきます。

アメリカは広いと言え、中西部や東海岸の流通で影響を受けるのは目に見えておりますので、とりあえずペーパー類は品切れになると困るので少し余分に買い置きしておこうかなと思っております。



▲冷凍庫コーナー



▲生活用品は品切れ

そういえば、丁度このレポートを執筆中に入ってきた最新ニュースで、ドラッグストア大手の CVS が急遽全米で 1 万 5 千人以上の雇用を打ち出し、そのうちの 1 万人はファーマシーテクニシャン（調剤など薬剤師の補助をするスタッフの事で、通常一人の薬剤師に 3~5 人が付いて処方箋の手伝いなどを行う。ちなみに米国の薬剤師あたりが一日にこなす処方箋数は平均 200 と言われ、日本の約 4 倍）で、インフルエンザと近い将来の新型コロナウイルスのワクチン接種準備を行う と発表されました。

そろそろワクチン接種が行われるのでしょうか？

だとすれば良いのですがね！